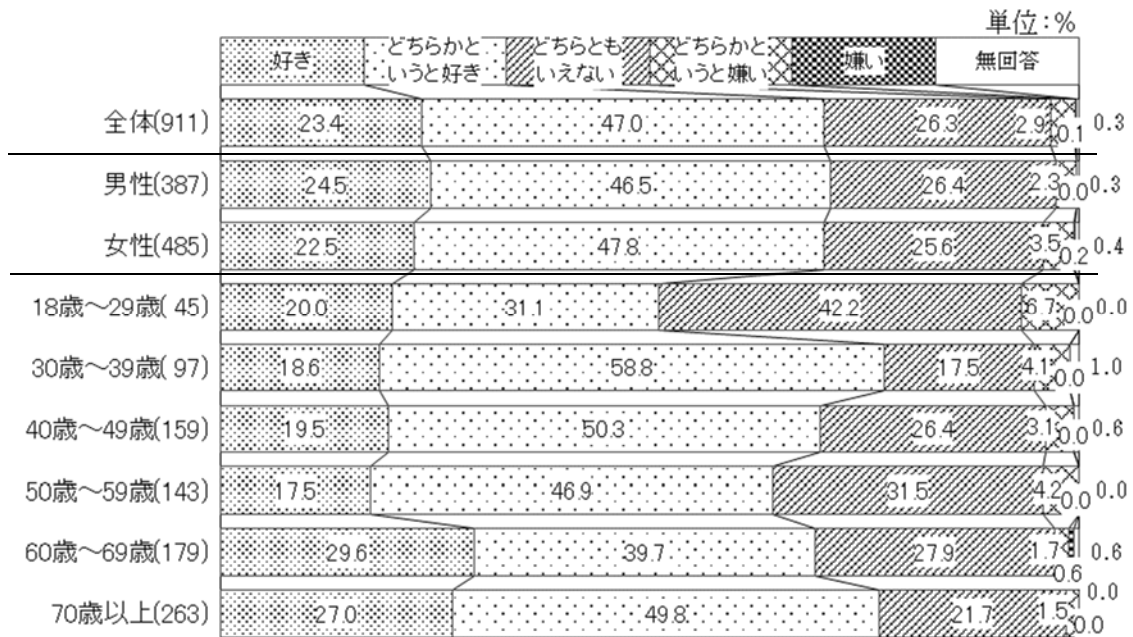


白井市第 5 次総合計画後期基本計画
第 1 4 回住民意識調査結果
(概要)

I 市や市政全般

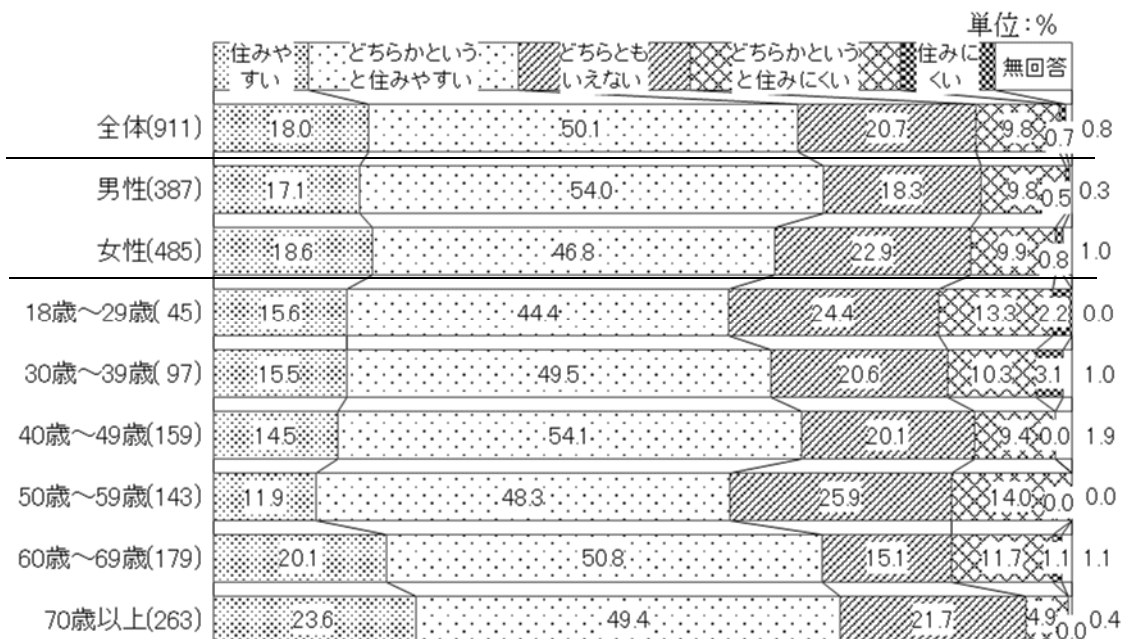
1 白井市について

「好き」と「どちらかという好き」を合わせた“白井市に好感を持っている人”は、10・20歳代で5割強と低く、30歳代では8割弱と高い。30歳代以上では、50歳代が他の年齢層より低い。【報告書P.16・17】



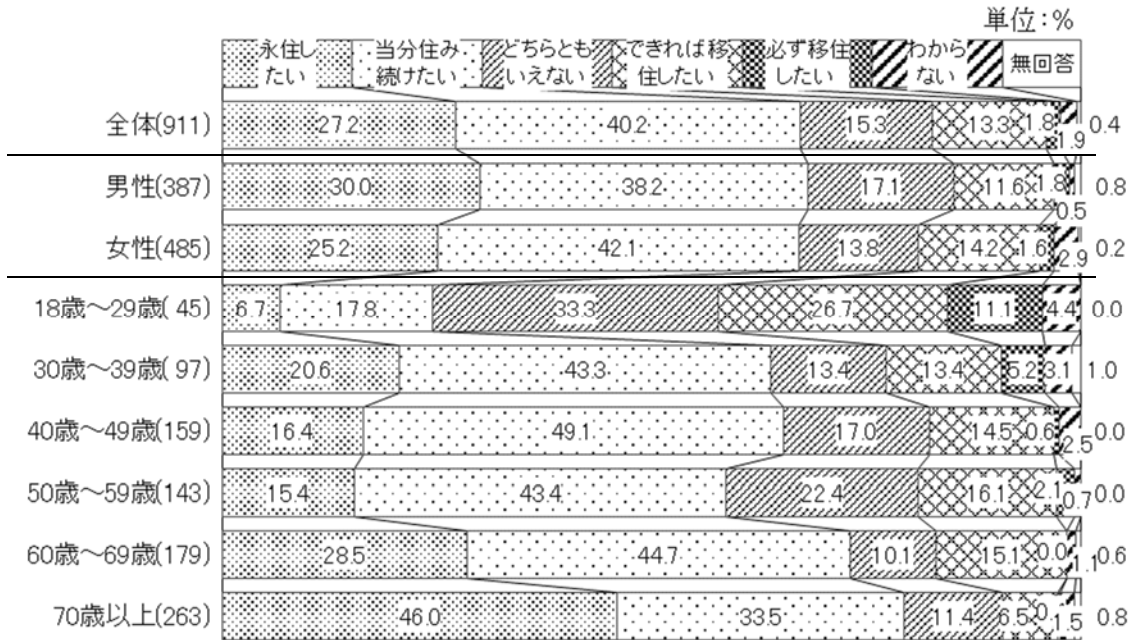
2 白井市の住みやすさについて

「住みやすい」と「どちらかという住みやすい」を合わせた“白井市に住みやすさを感じている人”は、10・20歳代と50歳代は約6割と他の年齢層より低い。60歳以上は、7割以上と高い。【報告書P.18・19】



3 定住意向について

「永住したい」と「当分住み続けたい」を合わせた“白井市に住み続けたいと考えている人”は、10・20歳代で2割台半ばと低く、高年齢層になるほど高い傾向にあるが、50歳代は他の年齢層より低い。【報告書 P. 20・21】



《住み続けたい理由》【報告書 P. 22・23】

(MA:3 つまで) 単位:%

		n	持ち家があるから	自然環境が良いから	日常生活が便利だから	友達や知り合いがいるから	転居するには経済的負担が大きいから	まちに愛着があるから	通勤・通学に便利だから	生まれ育ったまちだから	市の発展に期待できるから	転居するには身体的負担が大きいから	他に住みたいまちが見つからないから	教育環境が良いから
全体		614	72.0	54.2	37.3	25.4	15.8	12.7	10.4	9.8	5.2	5.0	3.7	2.1
性別	男性	264	73.9	59.1	38.3	16.7	16.3	17.0	9.5	9.8	6.8	3.0	4.9	1.9
	女性	326	70.6	50.3	36.5	31.9	15.3	9.5	10.7	9.8	4.3	6.7	2.8	2.5
	無回答	24	70.8	54.2	37.5	33.3	16.7	8.3	16.7	8.3	-	4.2	4.2	-
年齢	18歳～29歳	11	36.4	36.4	36.4	36.4	9.1	54.5	-	54.5	-	-	-	-
	30歳～39歳	62	64.5	51.6	29.0	22.6	14.5	8.1	17.7	14.5	6.5	-	-	9.7
	40歳～49歳	104	74.0	42.3	29.8	25.0	15.4	15.4	18.3	12.5	1.0	2.9	2.9	4.8
	50歳～59歳	84	70.2	47.6	39.3	20.2	21.4	10.7	21.4	7.1	4.8	3.6	6.0	-
	60歳～69歳	131	72.5	61.8	42.7	23.7	19.1	9.2	6.1	7.6	5.3	3.1	4.6	0.8
	70歳以上	209	76.1	59.3	38.8	28.2	12.0	14.4	3.3	7.2	7.7	9.6	4.3	0.5
	無回答	13	61.5	61.5	46.2	38.5	23.1	-	7.7	7.7	-	7.7	-	-

《移住したい理由》【報告書 P. 24・25】

(MA:3 つまで) 単位:%

		n	交通費が割高だから	市の発展に期待できないから	日常生活が不便だから	通勤・通学に不便だから	他に住みたいまちがあるから	まちに愛着を持ってないから	住宅の維持管理が難しいから	教育環境が悪いから	自然環境が悪いから	友達や知り合いがいないから	住みにくいから	住宅に段差などがあって住居が狭くなったから
全体		137	68.6	40.1	32.8	28.5	20.4	11.7	7.3	6.6	5.1	4.4	2.9	0.7
性別	男性	52	68.6	40.1	32.8	28.5	20.4	11.7	7.3	6.6	5.1	4.4	2.9	0.7
	女性	77	73.1	34.6	25.0	34.6	17.3	19.2	9.6	7.7	3.8	3.8	3.8	1.9
	無回答	8	67.5	42.9	37.7	24.7	19.5	7.8	6.5	6.5	3.9	3.9	1.3	-
年齢	18歳～29歳	17	50.0	50.0	37.5	25.0	50.0	-	-	-	25.0	12.5	12.5	-
	30歳～39歳	18	82.4	17.6	17.6	29.4	23.5	-	-	-	11.8	-	-	-
	40歳～49歳	24	61.1	38.9	38.9	44.4	16.7	11.1	-	11.1	-	5.6	5.6	-
	50歳～59歳	26	58.3	41.7	41.7	29.2	12.5	16.7	12.5	8.3	-	-	-	4.2
	60歳～69歳	27	73.1	50.0	30.8	38.5	30.8	15.4	3.8	7.7	3.8	3.8	-	-
	70歳以上	18	63.0	44.4	25.9	25.9	7.4	18.5	18.5	7.4	7.4	11.1	3.7	-
	無回答	7	77.8	38.9	44.4	11.1	27.8	5.6	5.6	-	-	-	11.1	-

※年齢別については、サンプル数が少ないことに留意する必要がある。

4 市民参加・協働によるまちづくりについて

市民参加・協働を進めるために充実していくべき取組

70歳以上を除く全ての年齢層で「まちづくりに関する情報発信の充実」が最も高い。

10・20歳代、30歳代では「市のイベントや行事の市民主体による開催」が他の年齢層に比べて高い。【報告書 P.96・97】

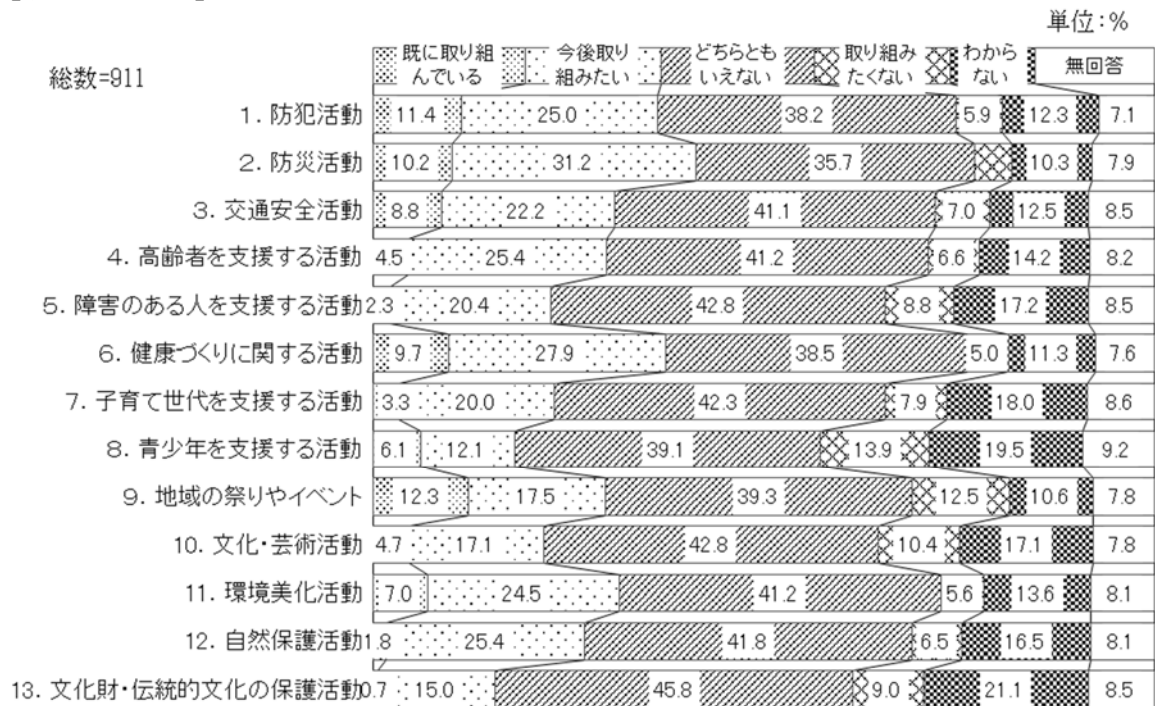
(MA:3つまで) 単位:%

		n	信 ま ち づ く り に 関 す る 情 報 発 信 の 充 実	交 換 の 機 会 の 充 実	市 民 と 市 職 員 の 交 流 や 意 見 の 充 実	市 の 計 画 づ く り に 市 民 が 関 与 す る 機 会 の 充 実	支 援 の 充 実	市 民 活 動 ・ 地 域 活 動 へ の 支 援	理 解 の 促 進	市 民 参 加 ・ 協 働 に つ い て の 促 進	市 の 情 報 公 開 制 度 の 推 進	市 民 主 体 に よ る エ ベ ン ト や 行 事 の 市 民 主 体 による開催	市 民 活 動 ・ 地 域 活 動 の リ ー ダ ー の 育 成	打 合 せ や 会 議 が で き る 活 動 の 拡 充
全体		911	46.4	38.3	32.6	29.6	24.4	20.6	19.4	15.1	8.8			
性別	男性	387	45.0	41.9	31.3	34.4	28.4	22.7	19.1	16.5	10.3			
	女性	485	47.4	36.7	33.4	27.0	21.0	19.4	19.6	14.4	7.8			
	無回答	39	48.7	23.1	35.9	15.4	25.6	15.4	20.5	10.3	5.1			
年齢	18歳～29歳	45	44.4	40.0	20.0	31.1	24.4	22.2	31.1	13.3	2.2			
	30歳～39歳	97	47.4	34.0	33.0	22.7	20.6	17.5	33.0	7.2	6.2			
	40歳～49歳	159	49.7	33.3	36.5	31.4	23.9	20.8	13.8	15.1	6.9			
	50歳～59歳	143	51.7	38.5	27.3	26.6	24.5	22.4	16.8	15.4	9.8			
	60歳～69歳	179	49.2	36.9	43.0	26.8	25.7	22.3	18.4	15.1	11.7			
	70歳以上	263	40.3	44.5	27.8	35.4	25.1	20.9	18.3	19.0	9.9			
	無回答	25	40.0	28.0	36.0	20.0	24.0	4.0	16.0	8.0	4.0			

市民参加・協働のまちづくりの参加状況

既に取り組んでいる活動は「地域の祭りやイベント」、「防犯活動」、「防災活動」が高い。今後取り組みたい活動は「防災活動」、「健康づくりに関する活動」が高い。

【報告書 P. 64】

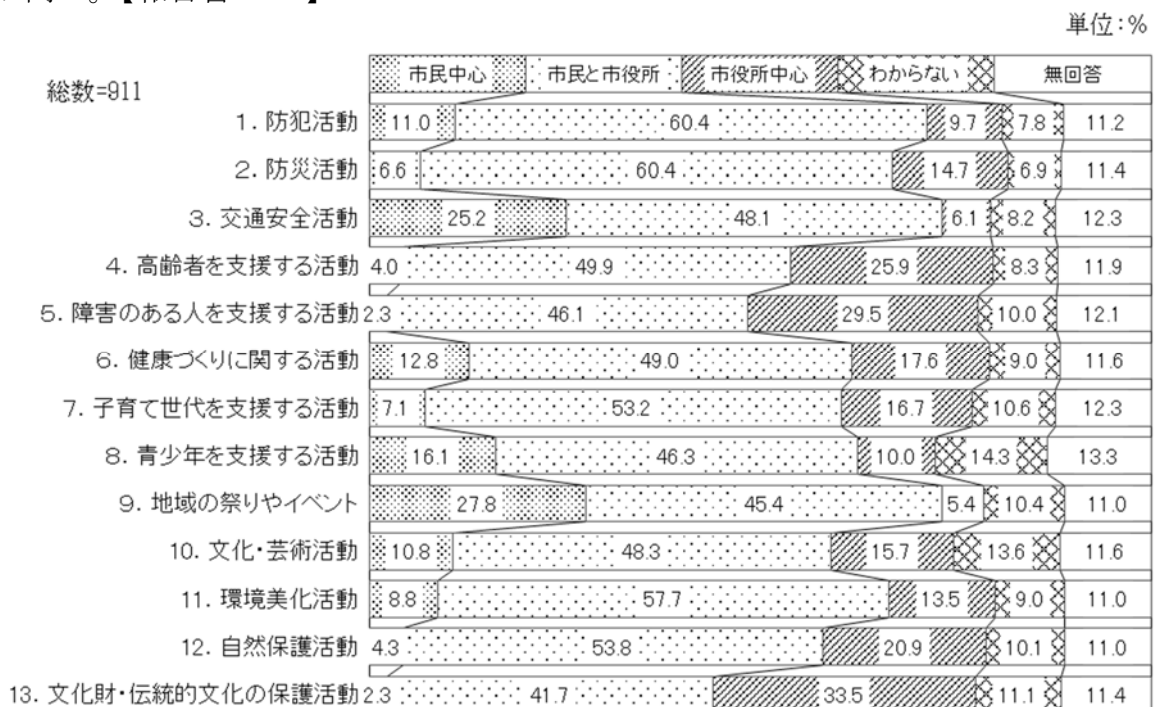


市民参加・協働の取組主体

市民中心の活動は「地域の祭りやイベント」、「交通安全活動」が高い。

市役所中心の活動は「文化財、伝統文化の保護活動」、「障害のある人を支援する活動」、「高齢者を支援する活動」が高い。

市民と市役所が一緒に取り組む活動は「防犯活動」、「防災活動」、「環境美化活動」が高い。【報告書 P. 78】



5 目指すべき将来のまちづくりの方向性について

30歳代までは他の年齢層に比べて「子育て環境」を重視する傾向にある。
40歳代以上では買い物の場や公共交通など利便性を重視する傾向にある。

【報告書 P. 112・113】

(MA:3 つまで) 単位:%

		n	身近な買物の場や医療機関があるまち	鉄道やバス交通が充実したまち	駅前などに商業施設などが数多く立地するまち	歩行者や自転車が安全に移動できるまち	自然環境や農地などのみどりを大切にするまち	ゆとりある住宅地が広がる住環境のよいまち	子育て環境の整ったまち	企業や工場が立地して働く場が多くあるまち	地域の住民が協力して魅力ある地域づくりを進めるまち	再生可能エネルギーの活用や省エネルギーが進んだ環境にやさしいまち	道路網が整った自動車移動しやすいまち	歴史や文化的な資源を大切にするまち
全体		911	44.7	42.3	28.8	26.6	26.3	26.1	21.4	17.3	14.3	12.5	10.5	4.6
性別	男性	387	40.1	35.1	31.5	24.3	30.7	31.3	22.0	19.1	15.2	10.9	12.9	5.2
	女性	485	48.9	47.2	27.2	27.6	22.7	23.5	21.6	16.1	13.4	13.6	8.7	4.3
	無回答	39	38.5	51.3	20.5	35.9	28.2	7.7	12.8	15.4	15.4	15.4	10.3	2.6
年齢	18歳～29歳	45	35.6	51.1	33.3	17.8	24.4	35.6	37.8	13.3	4.4	11.1	13.3	2.2
	30歳～39歳	97	36.1	34.0	37.1	28.9	20.6	22.7	44.3	12.4	6.2	9.3	15.5	6.2
	40歳～49歳	159	46.5	50.3	32.1	28.9	20.1	30.2	23.3	11.9	8.2	12.6	12.6	3.1
	50歳～59歳	143	53.1	42.0	35.7	26.6	23.1	25.2	21.0	16.8	14.0	9.1	10.5	2.1
	60歳～69歳	179	46.9	40.8	19.6	24.6	29.1	27.4	16.8	19.0	17.3	15.1	11.2	5.6
	70歳以上	263	43.0	38.8	26.6	27.0	32.7	24.0	12.9	22.8	20.2	14.8	7.2	6.1
	無回答	25	36.0	56.0	16.0	28.0	24.0	16.0	16.0	12.0	20.0	4.0	4.0	4.0

II 重点戦略別 戦略1若い世代定住プロジェクト

1 住環境【戦略1-1関係】

重要度・満足度評価

市の取組に対する今後の重要度と現在の満足度の評価点の差を求めることにより、市民のニーズと現状との差を把握する。

以下の表では、評価点の差が1.5を超えるものは薄い網掛けを、2.0を超えるものは濃い網掛けとしている。

差が大きいものは「計画的な土地利用・開発」で、特に10・20歳代で大きい。30歳代では、他の年齢層と比べて「公園の整備」で差が大きい。【報告書P.50・52・54】

	n	重要度評価点					重要度評価点－満足度評価点					
		づバ くり ア フ リ ー の 環 境	と 歴 史 用 ・ 文 化 財 の 保 存	開 計 画 的 な 土 地 利 用 ・	公 園 の 整 備	た 地 景 観 の づ 特 く り を 生 か し	づバ くり ア フ リ ー の 環 境	と 歴 史 用 ・ 文 化 財 の 保 存	開 計 画 的 な 土 地 利 用 ・	公 園 の 整 備	た 地 景 観 の づ 特 く り を 生 か し	
全体	911	1.16	0.53	1.06	0.94	0.81	1.43	0.50	1.58	0.97	1.07	
年齢	18歳～29歳	45	1.02	0.76	1.31	1.02	0.86	1.11	0.81	2.14	0.94	1.06
	30歳～39歳	97	1.01	0.48	1.03	1.25	0.87	1.29	0.33	1.45	1.53	1.10
	40歳～49歳	159	1.18	0.38	1.09	0.99	0.70	1.36	0.14	1.64	1.01	0.89
	50歳～59歳	143	1.24	0.48	1.00	0.80	0.68	1.62	0.51	1.67	0.98	1.14
	60歳～69歳	179	1.21	0.68	1.04	0.88	0.90	1.60	0.77	1.51	0.83	1.14
	70歳以上	263	1.13	0.54	1.03	0.91	0.86	1.32	0.57	1.46	0.84	1.07
無回答	25	1.41	0.30	1.22	0.68	0.95	1.86	0.21	1.72	0.62	1.29	

重要度・満足度評価（前回調査比較）

市の取組に対する今後の重要度と現在の満足度の評価点を前回調査と比較し、市民の意識の変化を把握する。

以下の表では、重要度は平均点の前回調査との差（+0.24）より高いものに、満足度は平均点の前回調査との差（+0.05）より低いものに薄い網掛けをしている。

	n	重要度評価点(前回調査比)					満足度評価点(前回調査比)				
		づバ くり ア フ リ ー の 環 境	と 歴 史 用 ・ 文 化 財 の 保 存	開 計 画 的 な 土 地 利 用 ・	公 園 の 整 備	た 地 景 観 の づ 特 く り を 生 か し	づバ くり ア フ リ ー の 環 境	と 歴 史 用 ・ 文 化 財 の 保 存	開 計 画 的 な 土 地 利 用 ・	公 園 の 整 備	た 地 景 観 の づ 特 く り を 生 か し
全体	911	0.12	0.23	0.25	0.06	0.06	-0.02	0.02	0.06	0.04	-0.06
年齢	18歳～29歳	0.13	0.52	0.56	0.16	0.21	-0.09	-0.20	-0.10	0.03	0.06
	30歳～39歳	0.16	0.40	0.05	0.07	0.01	-0.07	0.18	0.31	-0.12	-0.01
	40歳～49歳	0.23	0.28	0.20	0.08	-0.02	0.16	0.22	0.15	0.18	0.00
	50歳～59歳	0.13	0.17	0.20	0.03	-0.05	-0.01	0.03	-0.03	0.00	-0.19
	60歳～69歳	0.08	0.29	0.26	0.10	0.17	-0.12	-0.04	0.02	0.10	-0.08
	70歳以上	-0.07	0.02	0.36	0.08	0.09	-0.01	-0.12	-0.13	-0.02	-0.11
無回答	25	0.51	-0.13	0.43	-0.07	0.15	-0.05	0.32	0.29	0.11	0.17

2 就労・雇用【戦略1－2関係】

重要度・満足度評価

30歳代、40歳代では「企業誘致の推進」、60歳代では「就労希望者への雇用対策」、
「商店街や工業団地などの活性化の支援」で他の年齢層と比べて差が大きい。

【報告書 P. 50・52・54】

		重要度評価点			重要度評価点－満足度評価点			
		就労希望者への雇用対策	性商店街や工業団地などの活性化の支援	企業誘致の推進	就労希望者への雇用対策	性商店街や工業団地などの活性化の支援	企業誘致の推進	
n								
全体		911	1.00	0.87	0.87	1.39	1.38	1.46
年齢	18歳～29歳	45	1.07	0.78	0.71	1.44	1.24	1.49
	30歳～39歳	97	0.94	0.79	0.86	1.31	1.42	1.52
	40歳～49歳	159	0.92	0.92	0.97	1.30	1.44	1.70
	50歳～59歳	143	1.00	0.83	0.83	1.42	1.43	1.44
	60歳～69歳	179	1.14	0.97	0.92	1.62	1.55	1.49
	70歳以上	263	0.94	0.84	0.81	1.31	1.23	1.31
	無回答	25	1.16	1.06	0.81	1.16	1.28	0.69

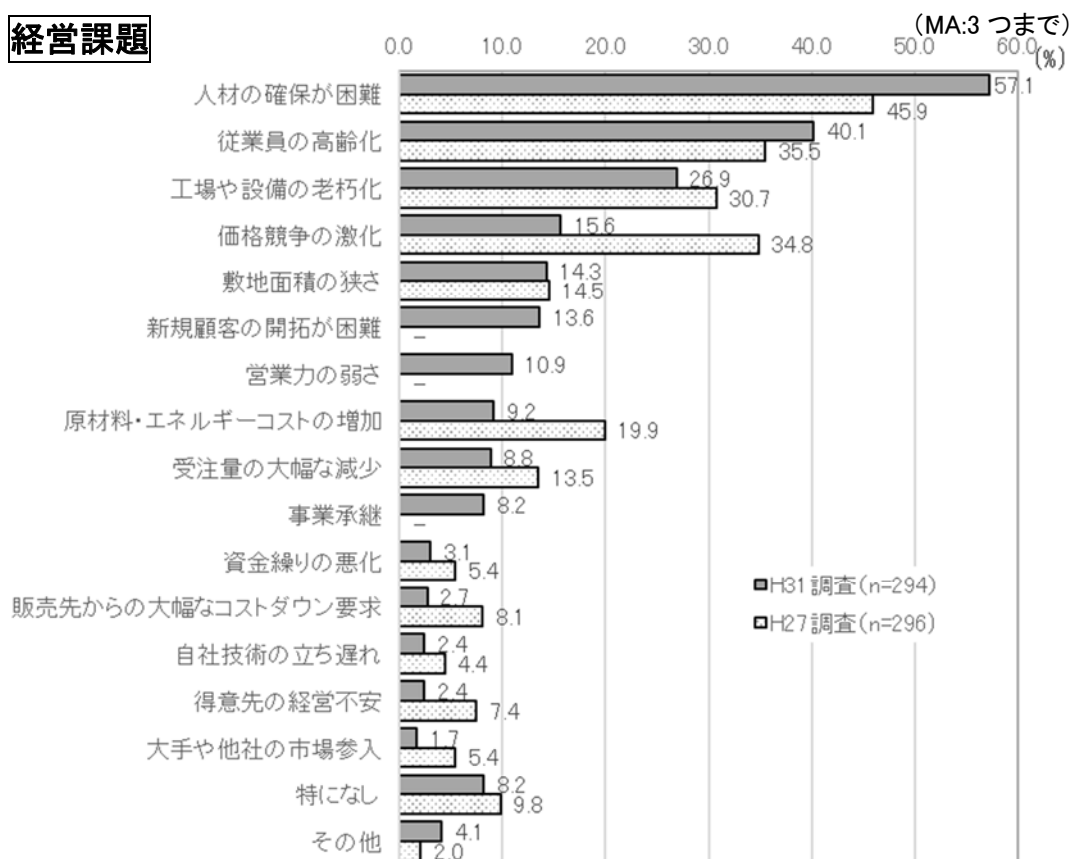
重要度・満足度評価（前回調査比較）

		重要度評価点(前回調査比)			満足度評価点(前回調査比)		
		就労希望者への雇用対策	性商店街や工業団地などの活性化の支援	企業誘致の推進	就労希望者への雇用対策	性商店街や工業団地などの活性化の支援	企業誘致の推進
全体		0.21	0.30	0.32	0.20	0.05	0.00
年齢	18歳～29歳	-0.05	0.13	0.19	0.43	0.30	-0.10
	30歳～39歳	0.29	0.37	0.46	0.35	-0.09	0.06
	40歳～49歳	0.18	0.35	0.44	0.14	0.14	0.06
	50歳～59歳	0.20	0.34	0.29	0.21	-0.11	-0.11
	60歳～69歳	0.30	0.35	0.31	0.11	0.06	-0.04
	70歳以上	0.24	0.17	0.18	0.04	-0.13	-0.10
	無回答	0.59	0.29	0.38	0.90	0.78	1.20

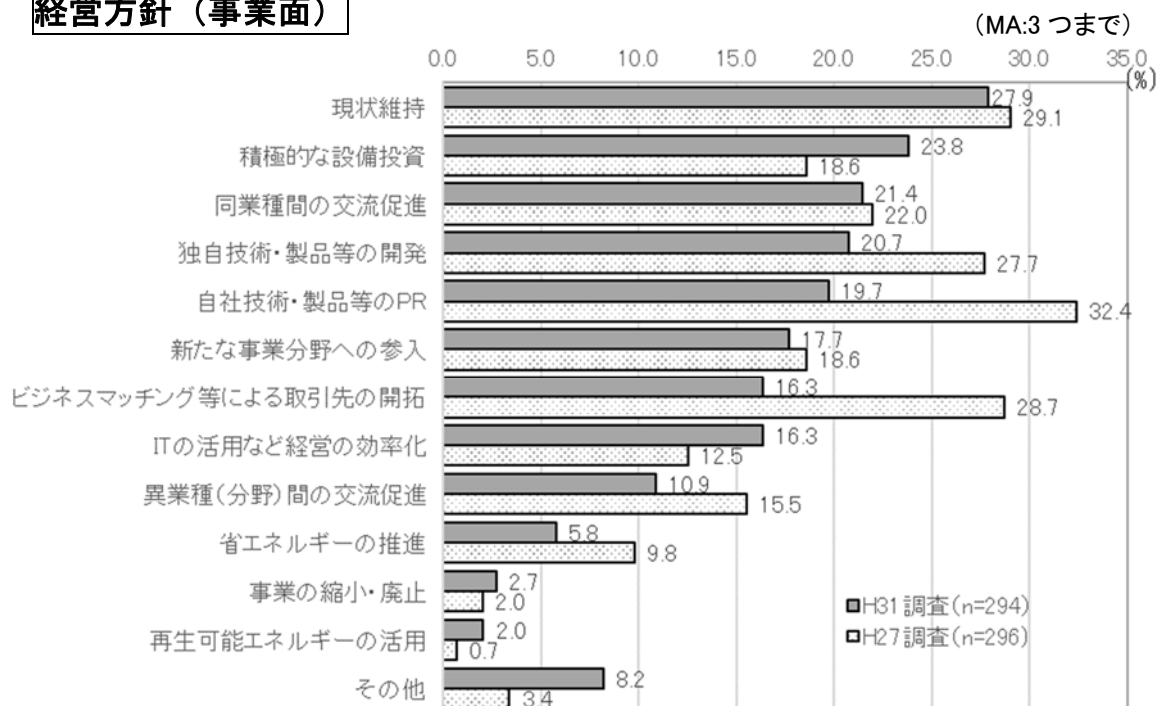
《工業団地実態調査結果》

工業団地（周辺含む）に立地する企業 410 社を対象に実施（H31 年度）

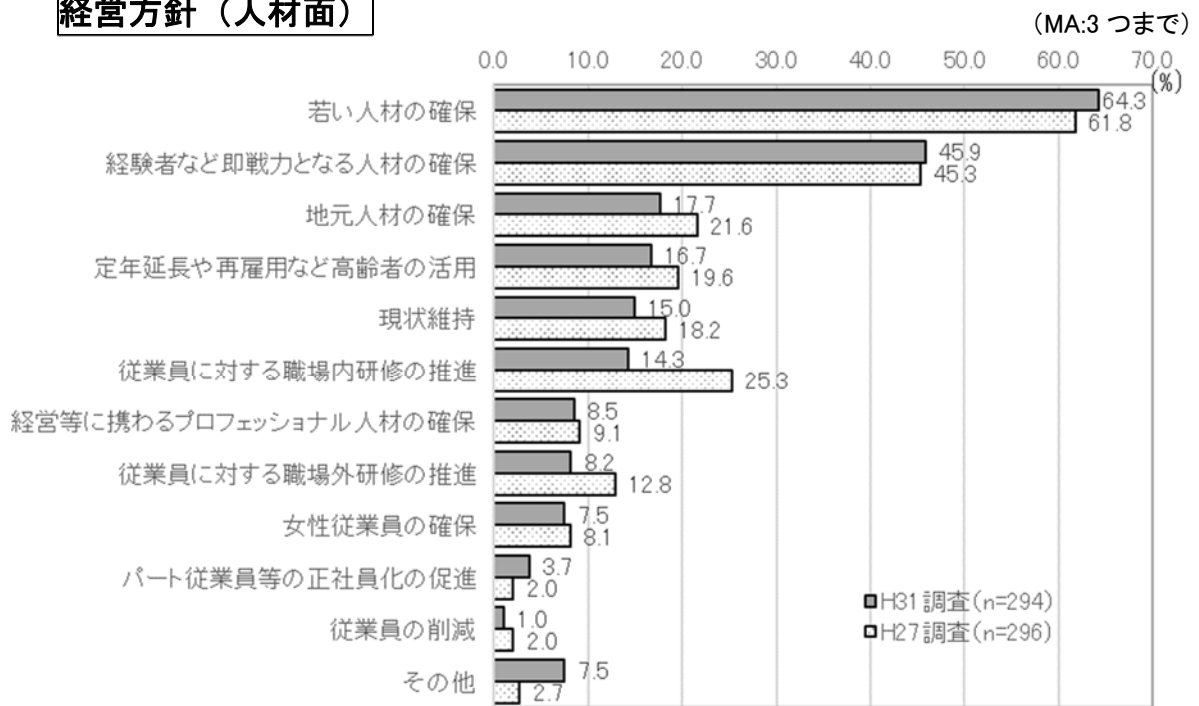
経営課題



経営方針（事業面）



経営方針（人材面）



3 子育て【戦略1-3関係】

重要度・満足度評価

差が大きいものは「休日・夜間や緊急時の医療体制」で、特に30歳代で大きい。30歳代以下では「子どもの医療費助成など子育て支援」と「保育園の整備など子育ての環境づくり」で他の年齢層と比べて差が大きい。【報告書P.50・52・54】

	n	重要度評価点							重要度評価点－満足度評価点						
		子育て支援	環境づくり	保育園の整備	障がい児への療育	児童や青少年の健全育成	乳幼児健診など母子の健康	休日・夜間や緊急時の医療	子育て支援	環境づくり	保育園の整備	障がい児への療育	児童や青少年の健全育成	乳幼児健診など母子の健康	休日・夜間や緊急時の医療
全体	911	1.33	1.28	1.17	1.23	1.23	1.42	1.37	1.31	1.23	1.28	1.01	1.72		
年齢	18歳～29歳	45	1.52	1.50	1.24	1.26	1.33	1.31	2.06	1.61	1.32	1.20	1.39	1.59	
	30歳～39歳	97	1.61	1.43	0.98	1.29	1.40	1.53	1.82	1.52	1.08	1.40	1.10	2.00	
	40歳～49歳	159	1.49	1.24	1.17	1.18	1.17	1.54	1.44	1.21	1.03	1.10	0.86	1.97	
	50歳～59歳	143	1.13	1.19	1.08	1.14	1.12	1.42	1.21	1.36	1.18	1.23	1.06	1.77	
	60歳～69歳	179	1.31	1.29	1.25	1.26	1.20	1.41	1.35	1.38	1.43	1.48	1.06	1.75	
	70歳以上	263	1.20	1.24	1.20	1.22	1.25	1.34	1.11	1.16	1.27	1.19	0.98	1.42	
	無回答	25	1.37	1.47	1.47	1.63	1.57	1.33	1.37	1.26	1.63	1.96	1.21	1.26	

重要度・満足度評価（前回調査比較）

	n	重要度評価点(前回調査比)							満足度評価点(前回調査比)						
		子育て支援	環境づくり	保育園の整備	障がい児への療育	児童や青少年の健全育成	乳幼児健診など母子の健康	休日・夜間や緊急時の医療	子育て支援	環境づくり	保育園の整備	障がい児への療育	児童や青少年の健全育成	乳幼児健診など母子の健康	休日・夜間や緊急時の医療
全体	911	0.78	0.86	0.88	0.58	0.55	-0.03	0.16	0.09	0.03	0.05	0.08	0.25		
年齢	18歳～29歳	0.59	0.60	0.73	0.44	0.41	-0.10	-0.32	-0.06	-0.29	0.17	-0.27	0.27		
	30歳～39歳	0.10	0.24	0.45	0.04	0.20	-0.12	0.10	0.28	0.11	0.14	0.19	0.53		
	40歳～49歳	0.78	1.29	1.14	0.60	0.84	-0.02	0.43	0.09	0.19	0.16	0.12	0.38		
	50歳～59歳	1.30	1.30	1.23	1.01	0.89	0.12	0.18	-0.04	0.12	0.18	-0.03	0.16		
	60歳～69歳	1.00	0.90	0.83	0.68	0.51	0.05	0.08	0.02	-0.03	-0.19	0.02	-0.02		
	70歳以上	0.89	0.80	0.78	0.59	0.43	-0.09	-0.09	-0.03	-0.06	0.01	0.07	0.13		
	無回答	25	1.37	1.47	1.47	1.63	1.57	1.33	0.14	0.63	-0.26	-0.33	0.47	0.74	

充実していくべき子育て支援施策

子育て世代の中心である30歳代、40歳代では「子どもが安心して医療機関にかかれる体制」や「医療費への助成」が高い。

10・20歳代では「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」や「保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が高い。

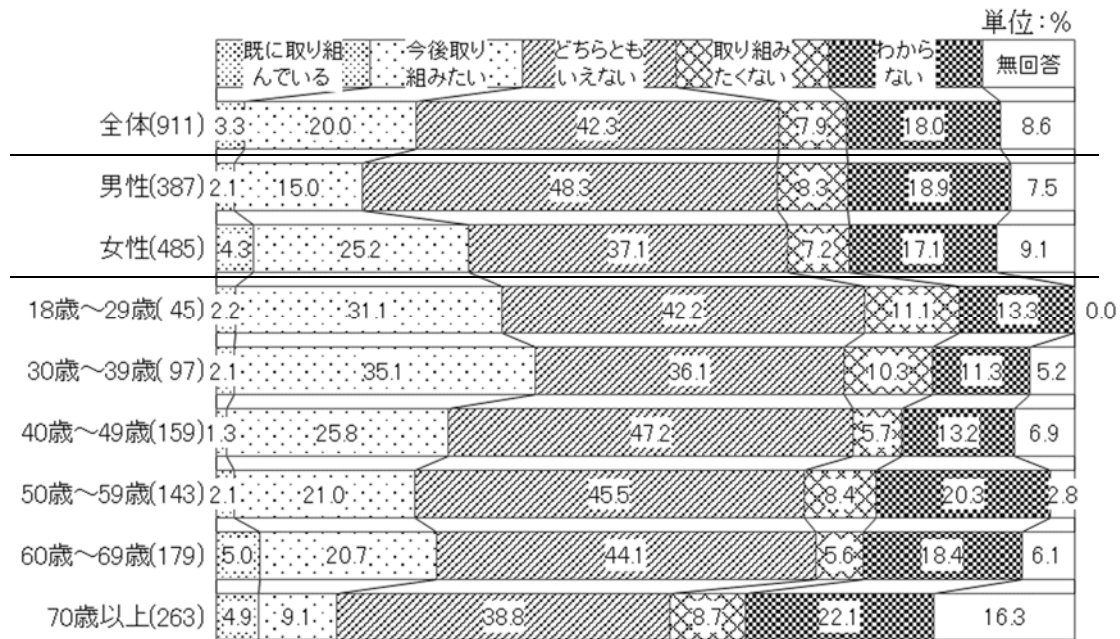
10・20歳代、30歳代では「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり」が他の年齢層に比べて高い。【報告書P.56・57】

(MA:3つまで) 単位:%

		n	子どもが安心して医療機関にかかれる体制	必要な時に誰でも利用できる保育サービス	医療費への助成	保育所や幼稚園にかかる費用負担の軽減	親子が安心して集える身近な場や機会の充実	学童保育の充実	中学生・高校生の居場所づくり	子ども連れでも出かけやすく楽しめる場づくり	子どもたちが様々な人と交流する機会の提供	子育て家庭の家賃や教育ローンへの助成	子育て情報が入りやすいサービス	企業に対する職場環境の改善の働きかけ	子育てについて学べる機会	乳幼児健診などの母子保健の充実
全体		911	29.7	29.5	29.4	25.1	22.7	19.2	19.1	17.9	15.9	15.7	12.1	10.4	8.6	6.3
性別	男性	387	32.0	25.6	32.0	33.6	24.5	17.3	18.6	17.8	15.8	20.2	9.6	9.0	8.8	5.9
	女性	485	28.2	32.6	27.2	18.8	21.4	20.8	19.2	18.4	16.1	12.4	14.2	11.5	8.7	6.4
	無回答	39	25.6	30.8	30.8	20.5	20.5	17.9	23.1	12.8	15.4	12.8	10.3	10.3	5.1	7.7
年齢	18歳～29歳	45	20.0	42.2	20.0	42.2	20.0	6.7	24.4	24.4	4.4	22.2	13.3	13.3	15.6	8.9
	30歳～39歳	97	37.1	27.8	34.0	33.0	18.6	17.5	17.5	29.9	14.4	16.5	4.1	8.2	7.2	8.2
	40歳～49歳	159	38.4	32.7	43.4	18.2	17.0	20.1	18.9	16.4	17.6	22.0	6.3	11.3	5.0	4.4
	50歳～59歳	143	25.2	28.7	35.0	31.5	19.6	14.7	18.9	17.5	15.4	19.6	11.9	10.5	7.0	7.0
	60歳～69歳	179	30.2	31.3	26.8	21.2	22.3	22.9	17.3	13.4	19.6	11.7	16.8	14.0	11.2	6.1
	70歳以上	263	26.2	26.2	19.0	23.2	30.0	21.7	20.2	16.0	16.0	11.8	15.2	7.6	9.9	6.1
	無回答	25	24.0	20.0	36.0	20.0	24.0	16.0	20.0	24.0	8.0	8.0	12.0	12.0	-	4.0

子育て世代を支援する活動への取組状況

30歳代を中心に若年層で「今後取り組みたい」が高い。【報告書P.71】



4 学校教育【戦略1－3関係】

重要度・満足度評価

30歳代、40歳代では「小・中学校での教育・指導内容」と「学校施設の整備・安全対策」が他の年齢層と比べて差が大きい。【報告書P.50・52・54】

	n	重要度評価点				重要度評価点－満足度評価点				
		内容・中学校での教育・指導	学校施設の整備・安全対策	開かれた教育資源を活用した	地域のための幼児教育の推進	内容・中学校での教育・指導	学校施設の整備・安全対策	開かれた教育資源を活用した	地域のための幼児教育の推進	
全体	911	1.30	1.30	0.94	0.90	1.36	1.42	0.97	0.91	
年齢	18歳～29歳	45	1.38	1.12	0.85	0.93	1.38	1.02	0.90	0.82
	30歳～39歳	97	1.47	1.51	1.06	1.15	1.63	1.94	1.10	0.97
	40歳～49歳	159	1.46	1.45	0.88	0.82	1.40	1.55	0.88	0.77
	50歳～59歳	143	1.17	1.20	0.86	0.71	1.34	1.44	1.02	0.91
	60歳～69歳	179	1.26	1.31	0.99	0.88	1.42	1.47	1.07	1.01
	70歳以上	263	1.19	1.16	0.98	1.00	1.15	1.14	0.95	0.94
	無回答	25	1.53	1.47	0.68	0.84	1.74	1.26	0.35	0.92

重要度・満足度評価（前回調査比較）

	n	重要度評価点(前回調査比)				満足度評価点(前回調査比)				
		内容・中学校での教育・指導	学校施設の整備・安全対策	開かれた教育資源を活用した	地域のための幼児教育の推進	内容・中学校での教育・指導	学校施設の整備・安全対策	開かれた教育資源を活用した	地域のための幼児教育の推進	
全体	911	0.57	0.52	0.44	0.52	0.03	-0.05	-0.03	0.08	
年齢	18歳～29歳	45	0.45	0.17	0.33	0.34	-0.02	-0.03	-0.29	0.11
	30歳～39歳	97	0.03	0.08	-0.07	0.04	-0.07	-0.17	0.10	0.50
	40歳～49歳	159	0.50	0.41	0.26	0.71	0.13	0.20	-0.02	-0.05
	50歳～59歳	143	1.08	1.07	0.81	0.80	-0.06	-0.16	-0.14	-0.17
	60歳～69歳	179	0.72	0.68	0.62	0.56	0.07	-0.19	-0.05	0.02
	70歳以上	263	0.59	0.54	0.59	0.61	0.04	-0.16	-0.02	0.07
	無回答	25	0.89	0.70	0.30	0.62	-0.06	0.53	0.61	0.26

充実していくべき学校教育施策

30歳代までは「子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成」が最も高い。
 高年齢層は「豊かな人間性や社会性、道徳心の育成」が高い傾向にある。

また、30歳代、40歳代では「学校施設や設備の改善」が他の年齢層と比べて高い。【報告書P.58・59】

(MA:3つまで) 単位:%

n		豊かな人間性や社会性・道徳心の育成	いじめ防止対策の推進	子ども自らが学び、思考し、表現する力の育成	子どもの基礎的な知識や技能の向上	個性を生かした学校生活の実現	体力づくりの推進	学校施設や設備の改善	学校教育・家庭・地域の連携による支援	少人数指導などきめ細かな指導の推進	地域の交流による幅広い学びの提供	職業体験などキャリア教育の充実	地域の食材を生かした「食育」の実施	
全体	911	44.6	42.8	38.7	28.6	23.2	17.8	15.4	13.8	13.0	12.0	9.7	7.1	
性別	男性	387	46.0	41.9	42.9	27.6	25.3	22.0	16.0	11.6	12.4	9.8	8.5	6.2
	女性	485	43.7	43.7	36.7	28.5	21.4	13.8	15.5	14.4	13.6	13.8	11.1	8.0
	無回答	39	41.0	41.0	23.1	41.0	23.1	25.6	7.7	28.2	10.3	10.3	2.6	5.1
年齢	18歳～29歳	45	37.8	37.8	40.0	28.9	35.6	24.4	17.8	13.3	6.7	6.7	15.6	8.9
	30歳～39歳	97	34.0	36.1	49.5	25.8	25.8	15.5	20.6	7.2	15.5	12.4	21.6	8.2
	40歳～49歳	159	43.4	40.9	42.1	30.8	20.8	18.9	24.5	11.3	16.4	6.3	10.1	6.9
	50歳～59歳	143	37.8	48.3	34.3	35.0	21.0	14.7	18.9	16.8	14.7	13.3	11.2	7.7
	60歳～69歳	179	52.0	41.9	41.3	26.8	19.6	17.3	12.8	14.5	11.7	15.1	8.4	7.8
	70歳以上	263	49.8	45.2	35.4	25.1	25.5	18.6	8.4	14.1	10.3	12.9	4.9	6.1
	無回答	25	36.0	40.0	16.0	40.0	20.0	20.0	4.0	32.0	20.0	16.0	-	4.0

5 青少年・若者

充実していくべき青少年・若者施策

全ての年齢層で「いじめや虐待などの相談窓口、不登校やひきこもりなどの自立支援」が最も高い。

10・20歳代では「就職に向けたサポート体制」が、30歳代、40歳代では「多様な授業（国際交流等）を取り入れるなどの学校教育」が他の年齢層に比べて高い。

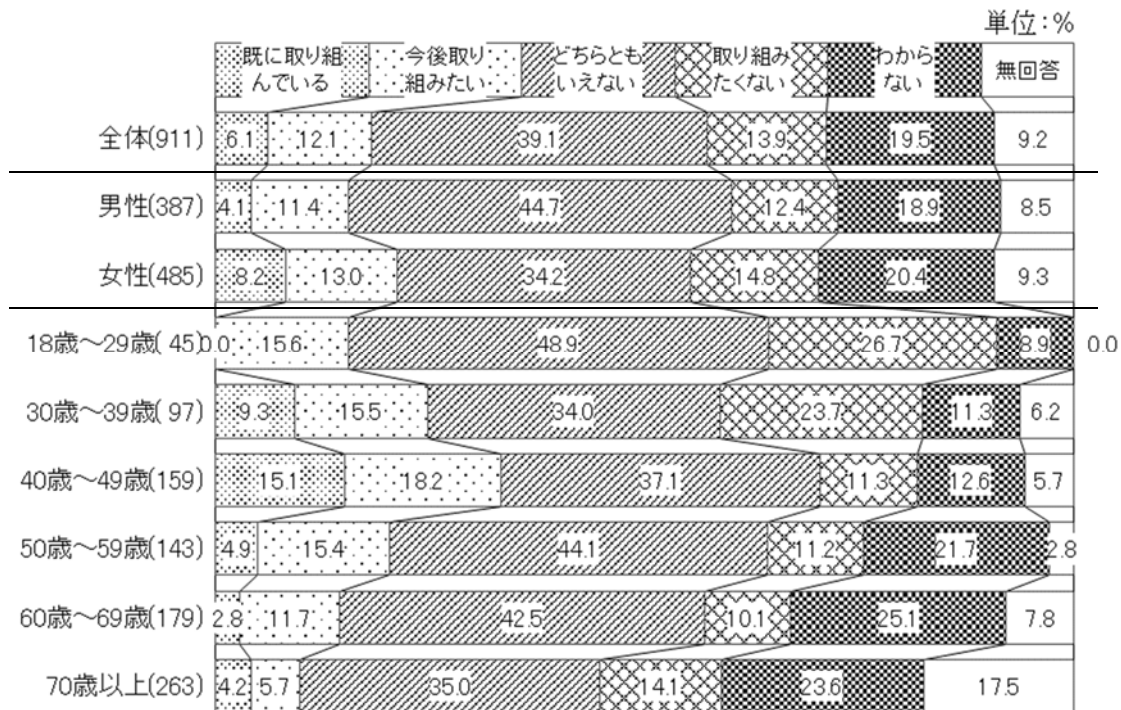
【報告書 P.100・101】

		(MA:3つまで) 単位:%									
		やいじめや虐待などの自立支援	も地域活動やまちづくりの機会を提供	青少年や若者の自主的な活動の支援	青少年や若者が参加できるイベントなど	経済的な困難を抱えている家庭への支援	が地域活動を通じて、家庭・学校・地域	る多様な授業（国際交流等）を取り入れ	就職に向けたサポート体制	成青少年活動のリーダーとなる人材の育	
n											
全体		911	50.3	30.6	30.3	29.7	25.9	25.5	23.2	17.6	11.4
性別	男性	387	46.5	36.2	30.5	32.3	27.6	27.9	19.9	16.8	13.4
	女性	485	53.2	26.8	31.1	27.8	25.2	23.7	25.8	18.1	10.3
	無回答	39	51.3	23.1	17.9	28.2	17.9	23.1	23.1	17.9	5.1
年齢	18歳～29歳	45	46.7	24.4	20.0	28.9	28.9	13.3	24.4	37.8	6.7
	30歳～39歳	97	48.5	26.8	24.7	29.9	29.9	14.4	38.1	15.5	6.2
	40歳～49歳	159	49.7	30.8	31.4	26.4	23.3	17.6	29.6	20.1	9.4
	50歳～59歳	143	56.6	25.2	24.5	31.5	35.7	16.8	19.6	26.6	9.1
	60歳～69歳	179	50.3	36.3	37.4	26.3	21.8	32.4	18.4	18.4	12.8
	70歳以上	263	48.3	32.3	32.7	33.5	24.3	36.5	19.4	8.7	16.3
	無回答	25	52.0	28.0	20.0	28.0	12.0	24.0	16.0	8.0	4.0

青少年を支援する活動への取組状況

40歳代では「既に取り組んでいる」、「今後取り組みたい」がともに高い。

30歳代では「既に取り組んでいる」、「今後取り組みたい」が高い一方で、「取り組みたくない」も高い。【報告書 P. 72】



III 重点戦略別 戦略2みどり活用プロジェクト

1 農業振興【戦略2-1関係】

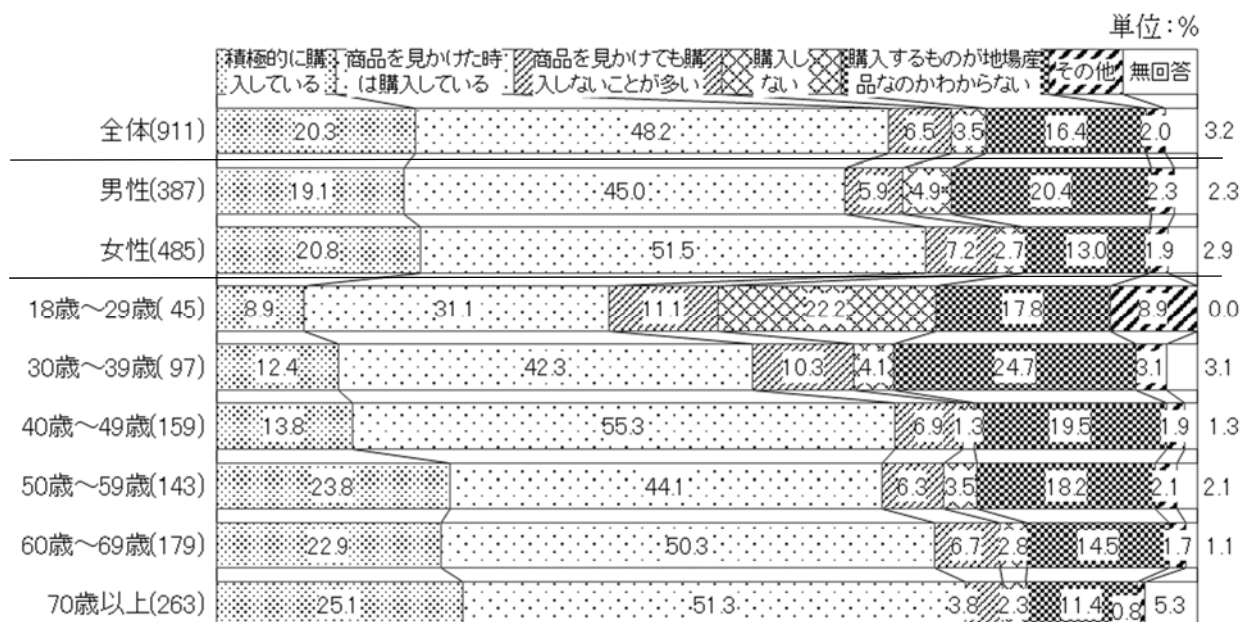
重要度・満足度評価

他の取組と比べて差は小さいが、10・20歳代では「多様な形態の農業経営と担い手の支援」で他の年齢層と比べて差が大きい。【報告書 P. 50・52・54】

	n	重要度評価点		重要度評価点 -満足度評価点		
		い多様な支援の形態の農業経営と担	流農業体験など農業・農村交	い多様な支援の形態の農業経営と担	流農業体験など農業・農村交	
全体	911	0.86	0.63	1.12	0.84	
年齢	18歳～29歳	45	1.12	0.66	1.51	0.77
	30歳～39歳	97	0.72	0.58	0.81	0.73
	40歳～49歳	159	0.82	0.64	1.07	0.72
	50歳～59歳	143	0.81	0.55	1.13	0.92
	60歳～69歳	179	0.94	0.67	1.19	0.87
	70歳以上	263	0.82	0.65	1.12	0.97
	無回答	25	1.35	0.65	1.19	0.31

地場農産物の購入状況

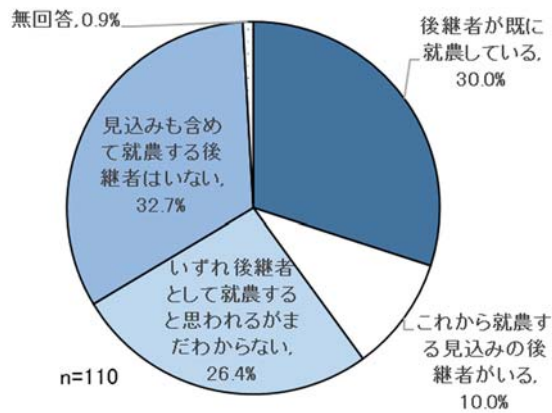
高年齢層になるほど、「積極的に購入している」と「商品を見かけた時は購入している」が高い。【報告書 P. 104・105】



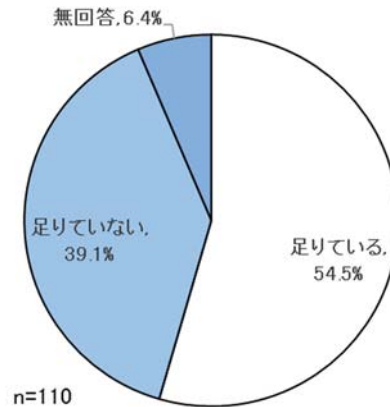
《梨生産者意向調査結果》

市内梨生産者 203 経営体を対象に実施 (H30 年度)

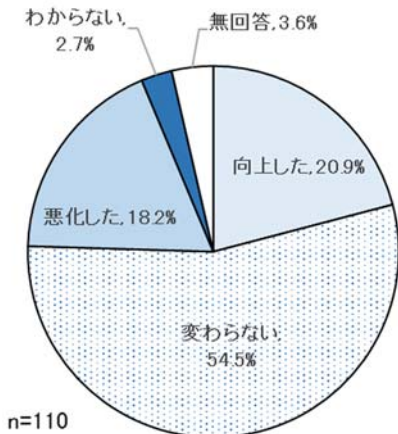
後継者の有無



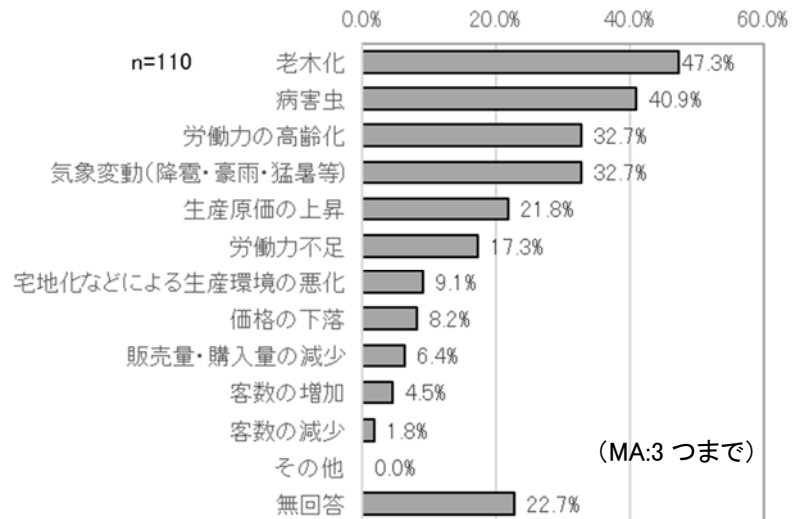
労働力としての雇用状況



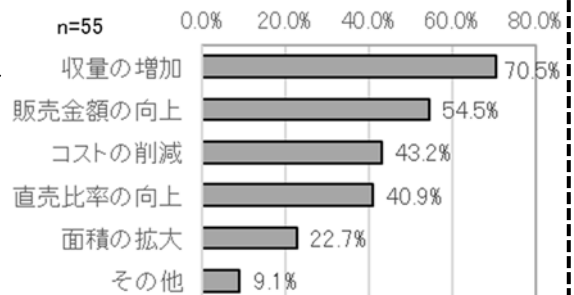
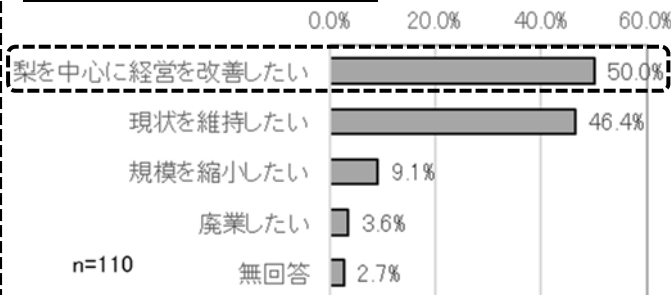
5年間の梨部門の収益性



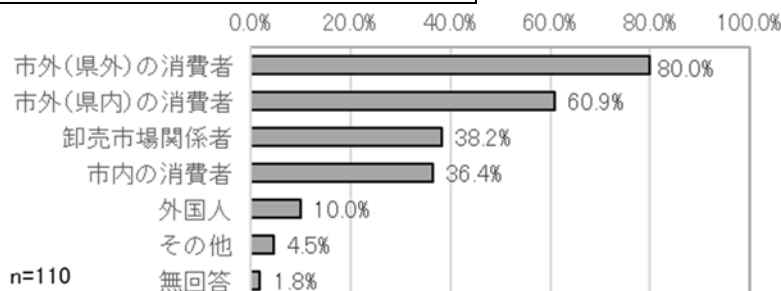
ここ数年の経営課題



今後の5年間の経営方針



ブランド化に向けたPRのターゲット



2 みどり・環境保全【戦略2-2関係】

重要度・満足度評価

差が大きいものは「不法投棄防止対策」で、特に50歳代以上で大きい。
【報告書P.50・52・54】

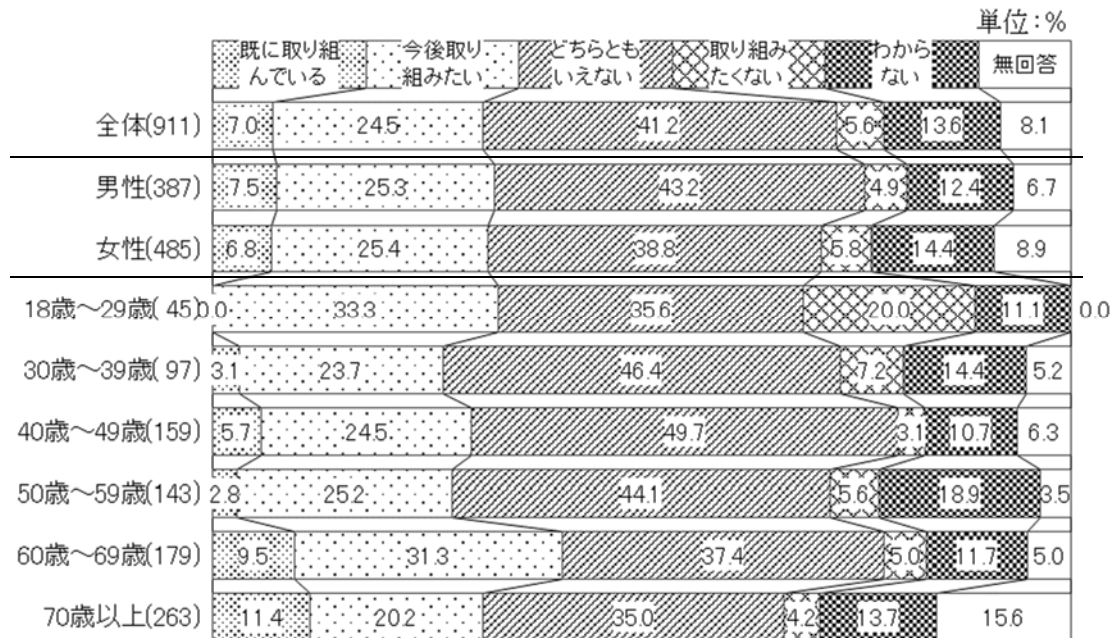
	n	重要度評価点				重要度評価点－満足度評価点				
		自然環境の保全	市民の森など自然とふれあ	環境学習や環境美化活動の推進	不法投棄防止対策	自然環境の保全	市民の森など自然とふれあ	環境学習や環境美化活動の推進	不法投棄防止対策	
全体	911	1.12	0.92	0.91	1.32	1.09	0.88	0.91	1.78	
年齢	18歳～29歳	45	0.95	0.83	0.86	1.24	0.80	0.55	0.64	1.74
	30歳～39歳	97	1.14	1.12	1.14	1.21	0.92	0.81	0.99	1.57
	40歳～49歳	159	1.02	0.82	0.74	1.10	0.92	0.70	0.66	1.40
	50歳～59歳	143	1.06	0.84	0.81	1.33	1.22	0.90	0.94	1.98
	60歳～69歳	179	1.30	1.02	1.02	1.46	1.37	1.20	1.15	2.05
	70歳以上	263	1.10	0.91	0.94	1.39	1.03	0.87	0.95	1.83
	無回答	25	1.45	0.90	0.75	1.70	1.58	1.03	0.68	1.77

重要度・満足度評価（前回調査比較）

	n	重要度評価点(前回調査比)				満足度評価点(前回調査比)			
		自然環境の保全	市民の森など自然とふれあ	環境学習や環境美化活動の推進	不法投棄防止対策	自然環境の保全	市民の森など自然とふれあ	環境学習や環境美化活動の推進	不法投棄防止対策
全体	911	0.11	0.05	0.19	0.21	0.03	0.08	0.04	0.07
年齢	18歳～29歳	-0.26	-0.13	-0.01	0.14	-0.10	0.04	0.16	-0.25
	30歳～39歳	0.21	0.10	0.36	0.26	0.19	0.34	0.19	0.17
	40歳～49歳	0.06	-0.05	0.07	-0.04	0.19	0.22	0.07	0.21
	50歳～59歳	0.10	0.03	0.12	0.25	-0.10	0.06	-0.04	-0.13
	60歳～69歳	0.28	0.21	0.31	0.31	0.02	-0.07	-0.05	0.02
	70歳以上	0.03	0.06	0.26	0.18	-0.01	0.01	-0.01	0.11
	無回答	25	0.34	-0.05	0.01	0.60	-0.13	0.06	0.38

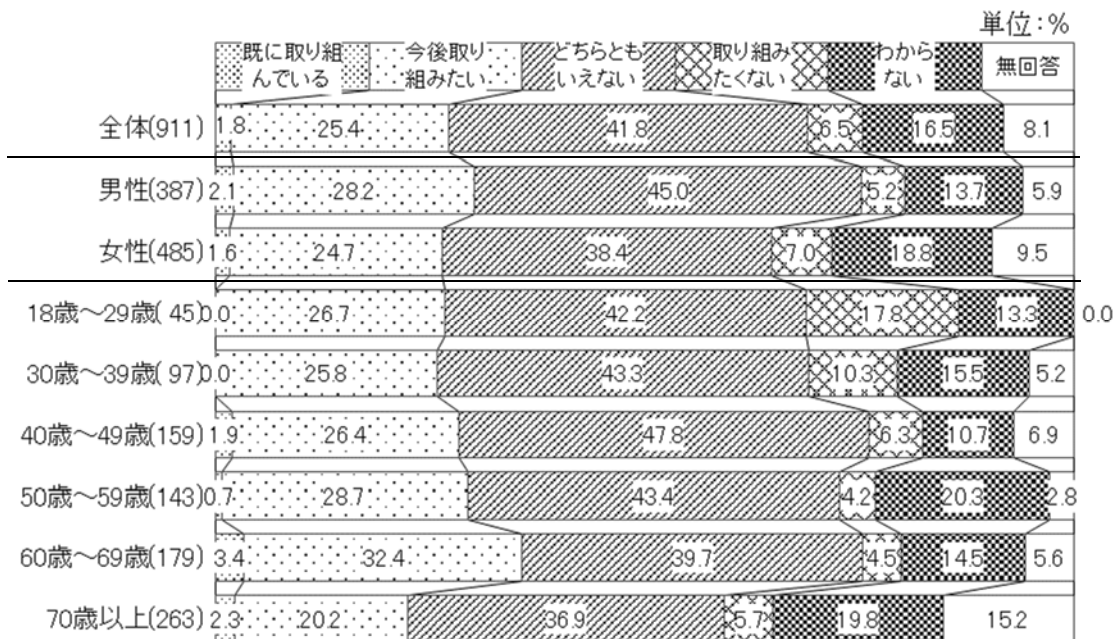
環境美化活動への取組状況

60歳代以上では「既に取り組んでいる」が高く、「今後取り組みたい」も高い。10・20歳代では「今後取り組みたい」が高い一方で、「取り組みたくない」も高い。【報告書 P. 75】



自然保護活動への取組状況

「既に取り組んでいる」の割合は全ての年齢層で低い。「今後取り組みたい」は60歳代が高い。【報告書 P. 76】



IV 重点戦略別 戦略3拠点創造プロジェクト

1 都市拠点づくり【戦略3-1関係】

重要度・満足度評価

30歳代、40歳代では「企業誘致の推進」、60歳代では「商店街や工業団地などの活性化の支援」で他の年齢層と比べて差が大きい。【報告書P.50・52・54】

	n	重要度評価点		重要度評価点 -満足度評価点		
		性商店街や支援工業団地などの活	企業誘致の推進	性商店街や支援工業団地などの活	企業誘致の推進	
全体	911	0.87	0.87	1.38	1.46	
年齢	18歳～29歳	45	0.78	0.71	1.24	1.49
	30歳～39歳	97	0.79	0.86	1.42	1.52
	40歳～49歳	159	0.92	0.97	1.44	1.70
	50歳～59歳	143	0.83	0.83	1.43	1.44
	60歳～69歳	179	0.97	0.92	1.55	1.49
	70歳以上	263	0.84	0.81	1.23	1.31
	無回答	25	1.06	0.81	1.28	0.69

重要度・満足度評価（前回調査比較）

	重要度評価点 (前回調査比)	満足度評価点 (前回調査比)	重要度評価点 -満足度評価点		
			性商店街や支援工業団地などの活	企業誘致の推進	
全体	0.30	0.32	0.05	0.00	
年齢	18歳～29歳	0.13	0.19	0.30	-0.10
	30歳～39歳	0.37	0.46	-0.09	0.06
	40歳～49歳	0.35	0.44	0.14	0.06
	50歳～59歳	0.34	0.29	-0.11	-0.11
	60歳～69歳	0.35	0.31	0.06	-0.04
	70歳以上	0.17	0.18	-0.13	-0.10
	無回答	0.29	0.38	0.78	1.20

白井駅前の魅力が高くなる方法

10・20歳代では「カフェや広場など人が集まれる場所の整備」が最も高く、その他の年齢層では「商業施設の充実」が最も高い。

10・20歳代、70歳以上では「バス・レンタサイクルなど交通手段の充実」が、30歳代では「医療施設や子育て支援施設など福祉の充実」が他の年齢層と比べて高い。

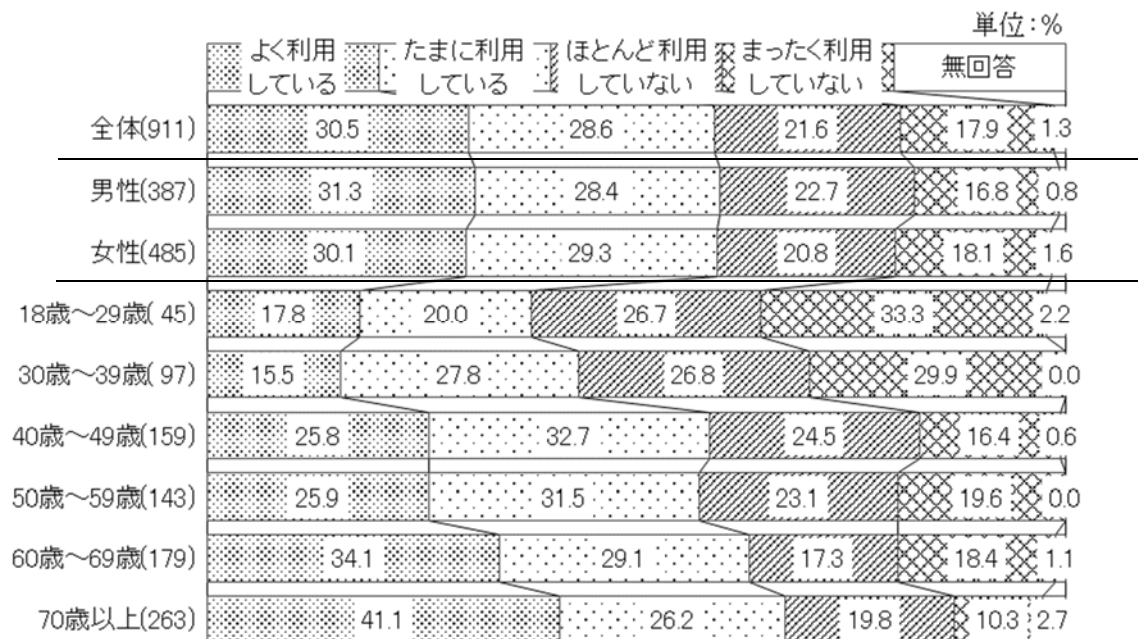
【報告書 P. 116・117】

(MA:3つまで) 単位:%

		n	商業施設の充実	カフェや広場など人が集まれる場所の整備	医療施設や子育て支援施設など福祉の充実	バス・レンタサイクルなど交通手段の充実	スポーツ・レクリエーション施設の整備	駅周辺の駐車場の整備、案内看板の設置	マンションなどの住宅地としての利用	特に必要なものはない
全体		911	64.3	53.5	25.7	25.2	22.1	18.7	4.2	3.5
性別	男性	387	68.7	50.1	25.8	21.2	26.6	18.9	5.9	4.4
	女性	485	63.5	58.4	27.0	29.3	20.0	19.4	3.1	2.9
	無回答	39	30.8	25.6	7.7	15.4	2.6	7.7	-	2.6
年齢	18歳～29歳	45	60.0	68.9	20.0	37.8	15.6	13.3	6.7	2.2
	30歳～39歳	97	64.9	60.8	40.2	12.4	24.7	22.7	3.1	2.1
	40歳～49歳	159	74.8	67.3	19.5	21.4	23.3	17.6	2.5	3.8
	50歳～59歳	143	69.9	55.2	23.8	20.3	20.3	19.6	6.3	4.9
	60歳～69歳	179	63.7	52.5	23.5	25.1	26.3	20.7	5.0	3.4
	70歳以上	263	60.5	43.7	29.3	35.0	21.3	18.6	3.8	3.8
	無回答	25	16.0	8.0	8.0	4.0	4.0	-	-	-

白井駅周辺で買物や遊んだりする頻度

高年齢層ほど白井駅周辺を利用する頻度が高い。【報告書 P. 110・111】



2 地域拠点づくり【戦略3-2関係】

重要度・満足度評価

差が大きいものは「地震・台風などに備えた防災対策」で、特に50歳代、60歳代で大きい。

50歳代、60歳代では「独居高齢者の見守りなど地域福祉活動の支援」も他の年齢層と比べて差が大きい。【報告書P.50・52・54】

	n	重要度評価点							重要度評価点－満足度評価点							
		防災対策・台風などに備えた防	域福祉活動の見守りなど地	健康づくりの推進	の地区コミュニティの活性化	の公益的市民活動団体などへ	ど生涯学習活動の講座開催な	各センターでの講座開催な	スポーツ活動の推進	防災対策・台風などに備えた防	域福祉活動の見守りなど地	健康づくりの推進	の地区コミュニティの活性化	の公益的市民活動団体などへ	ど生涯学習活動の講座開催な	各センターでの講座開催な
全体	911	1.50	1.22	1.13	0.60	0.40	0.48	0.54	1.65	1.47	0.98	0.66	0.49	0.46	0.54	
年齢	18歳～29歳	45	1.46	1.12	1.19	0.63	0.35	0.59	0.73	1.43	1.54	1.30	0.83	0.51	0.49	0.94
	30歳～39歳	97	1.49	0.91	1.15	0.57	0.36	0.30	0.39	1.65	1.12	1.11	0.54	0.32	0.07	0.35
	40歳～49歳	159	1.48	1.17	0.99	0.45	0.29	0.31	0.40	1.44	1.28	0.73	0.50	0.29	0.15	0.21
	50歳～59歳	143	1.55	1.31	0.98	0.55	0.31	0.53	0.58	1.82	1.60	1.01	0.76	0.51	0.64	0.78
	60歳～69歳	179	1.56	1.31	1.20	0.62	0.48	0.55	0.59	1.87	1.74	1.15	0.77	0.68	0.71	0.65
	70歳以上	263	1.45	1.28	1.24	0.72	0.52	0.57	0.59	1.59	1.45	0.93	0.72	0.59	0.51	0.58
	無回答	25	1.38	1.29	1.19	0.50	0.25	0.62	0.55	1.46	1.59	1.19	0.35	0.17	0.26	0.28

重要度・満足度評価（前回調査比較）

	重要度評価点(前回調査比)							満足度評価点(前回調査比)							
	防災対策・台風などに備えた防	域福祉活動の見守りなど地	健康づくりの推進	の地区コミュニティの活性化	の公益的市民活動団体などへ	ど生涯学習活動の講座開催な	各センターでの講座開催な	スポーツ活動の推進	防災対策・台風などに備えた防	域福祉活動の見守りなど地	健康づくりの推進	の地区コミュニティの活性化	の公益的市民活動団体などへ	ど生涯学習活動の講座開催な	各センターでの講座開催な
全体	0.04	0.14	0.04	0.07	0.17	0.15	0.22	0.12	0.04	0.08	0.01	-0.03	0.03	-0.02	
年齢	18歳～29歳	-0.13	0.23	0.17	0.30	0.18	0.37	0.45	0.15	-0.21	-0.15	-0.16	-0.13	0.07	-0.23
	30歳～39歳	-0.07	0.23	0.15	0.21	0.23	0.22	0.18	0.16	0.16	0.20	0.29	0.24	0.31	0.19
	40歳～49歳	-0.05	0.25	-0.04	0.07	0.21	0.08	0.12	0.30	0.13	0.20	0.00	0.03	0.14	0.21
	50歳～59歳	0.12	0.18	-0.09	0.01	0.10	0.12	0.30	0.14	-0.03	0.00	-0.10	-0.17	0.00	-0.21
	60歳～69歳	0.20	-0.01	0.12	0.04	0.28	0.17	0.21	0.03	-0.13	0.02	-0.06	-0.19	-0.11	-0.07
	70歳以上	0.09	-0.03	-0.02	-0.05	-0.01	0.02	0.19	-0.01	0.12	-0.02	-0.02	-0.01	-0.08	-0.18
	無回答	-0.09	0.02	-0.01	-0.10	0.00	0.16	0.08	0.29	0.15	-0.10	0.24	0.08	0.29	0.40

参加しやすいと思う地域活動

高年齢層ほど「身体的・精神的な負担がなく参加できる活動」、「身近なところで参加できる活動」が高く、若年層ほど「自分にとってメリットがある活動」、「ある程度の収入が得られる活動」が高い。【報告書 P.92・93】

(MA:2つまで) 単位:%

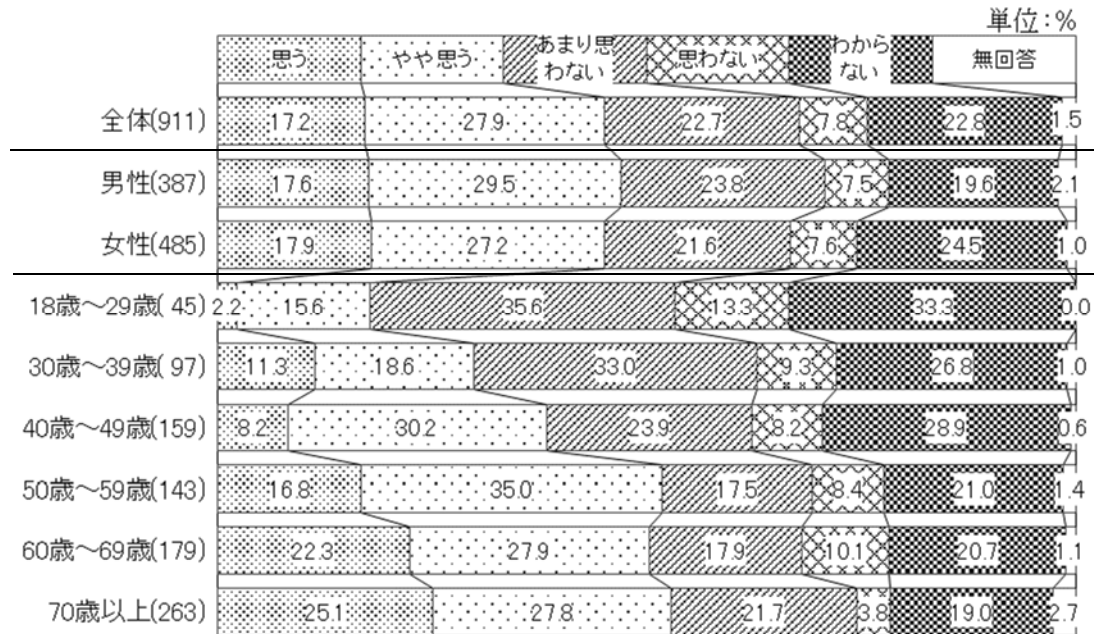
		n	活動参加したいときに参加できる	身体的・精神的な負担がなく参加できる活動	身近なところで参加できる活動	団体のしがらみがなく参加できる活動	自分の経験や技術が生かせる活動	地域や人の役に立つ活動	身近な仲間と一緒に参加できる活動	ある程度の収入が得られる活動	自分にとってメリットがある活動
全体		911	41.8	28.3	27.8	21.1	17.1	15.1	10.9	7.0	9.3
性別	男性	387	37.5	25.8	28.2	20.9	20.7	19.1	9.3	9.3	10.6
	女性	485	46.4	30.3	28.0	21.4	14.4	12.4	12.2	5.2	8.2
	無回答	39	28.2	28.2	20.5	17.9	15.4	10.3	10.3	7.7	10.3
年齢	18歳～29歳	45	28.9	17.8	20.0	24.4	13.3	8.9	8.9	22.2	24.4
	30歳～39歳	97	38.1	24.7	24.7	33.0	14.4	13.4	5.2	10.3	20.6
	40歳～49歳	159	50.9	27.7	24.5	20.8	19.5	8.2	10.7	8.8	13.2
	50歳～59歳	143	46.9	30.1	24.5	21.0	18.9	16.1	10.5	8.4	5.6
	60歳～69歳	179	40.2	31.8	29.6	25.7	24.0	19.0	6.7	3.9	5.6
	70歳以上	263	39.9	29.7	33.1	14.1	11.8	18.3	16.7	3.8	4.2
	無回答	25	24.0	16.0	24.0	12.0	16.0	12.0	8.0	4.0	16.0

地域住民が協力して地域課題の解決に取り組んでいるか

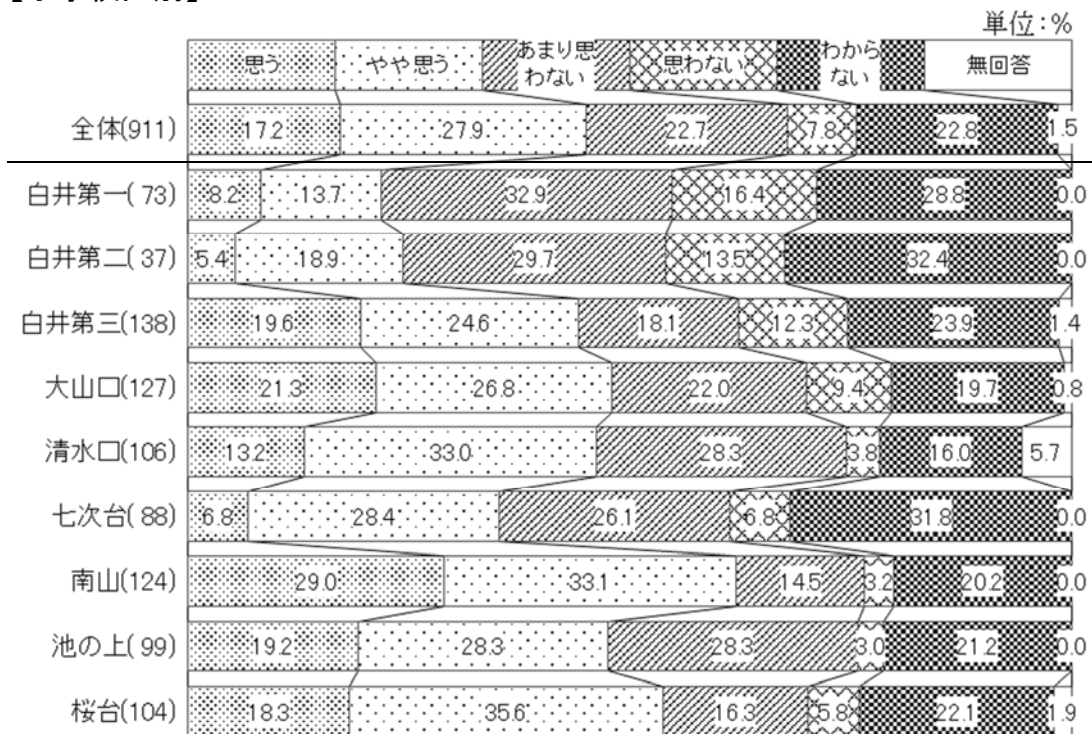
「思う」と「やや思う」を合わせた“地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思う人”は高年齢層ほど高い。

“地域の課題に対して地域住民が協力して解決に向けて取り組んでいると思う人”は南山小学校区で高く、白井第一小学校区、白井第二小学校区で低い。

【報告書 P. 94・95】



【小学校区別】

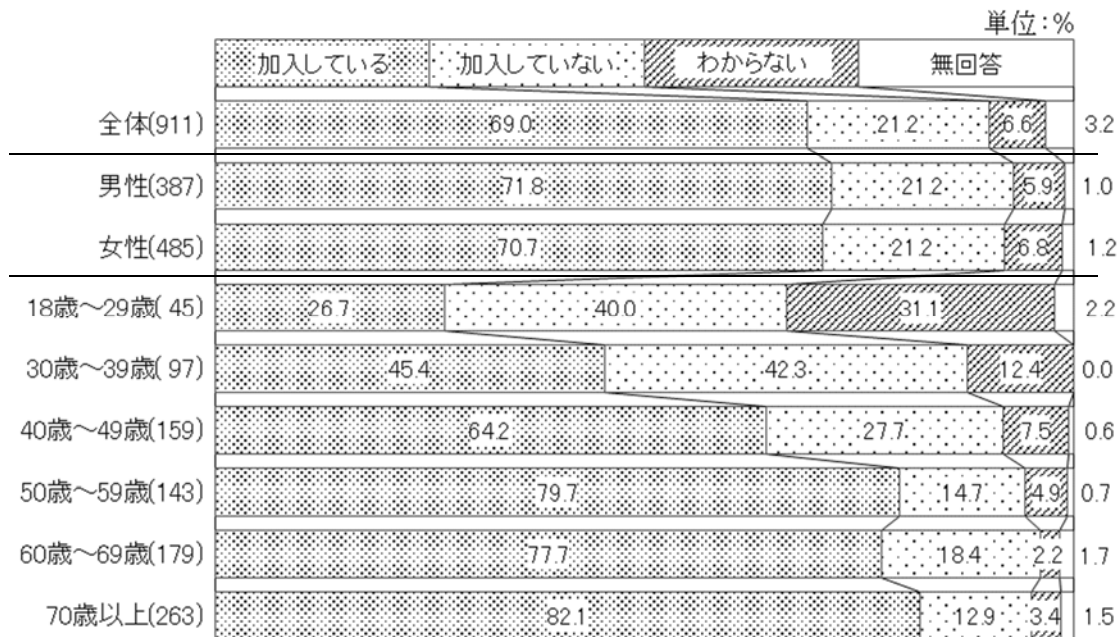


自治会への加入状況と加入しない理由

高齢層ほど「加入している」が高く、若年層ほど「加入していない」が高い。

加入していない理由は、男性では「活動内容がわからないため」、「活動内容に興味の持てるものがないため」といった活動内容に関するものが多く、女性では「自治会の役員になると負担が大きいため」が高い。【報告書 P. 118～121】

《加入状況》



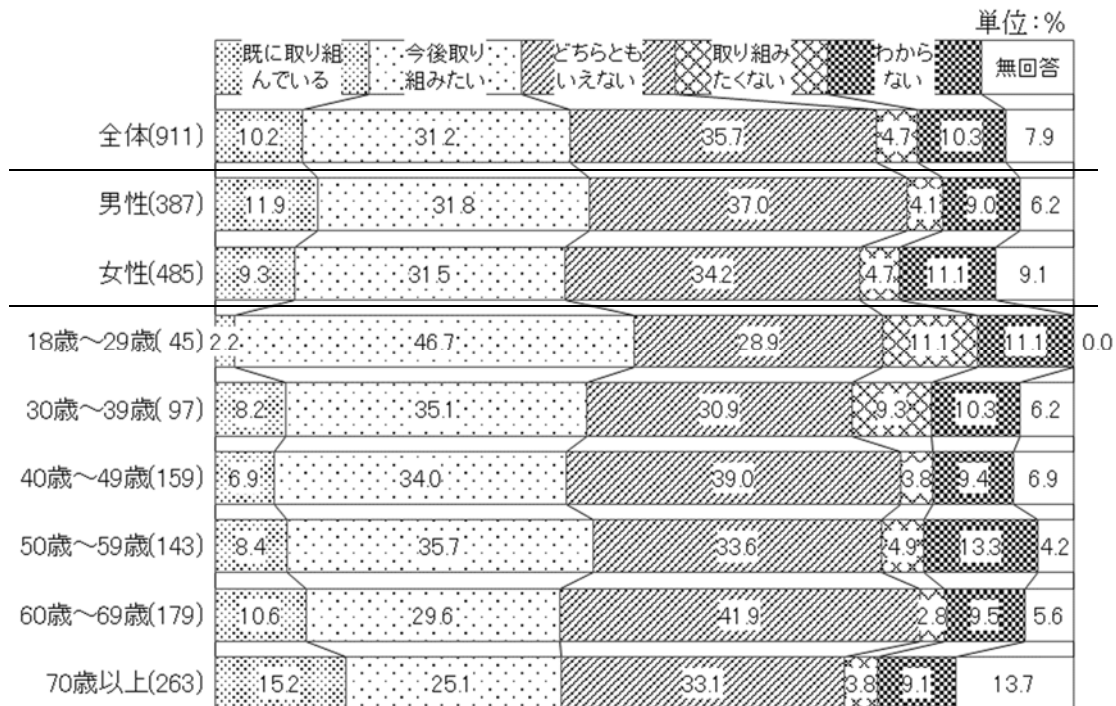
《加入していない理由》

(MA:3つまで) 単位：%

	n	地域に自治会がないため	自治会の役員になると負担が大きい	自治会に加入したくない	活動内容に興味の持てない	活動内容がわからない	活動する時間帯が合わない	地域に自治会があるかわからない	自治会への加入の勧誘がない	自治会への加入が世帯単位の加入のため	自治会費が高いため	活動時間が少ないため	自治会の役員に手当がない	
		全体	193	31.1	24.4	22.8	20.2	19.7	18.1	16.1	10.4	6.2	6.2	4.7
性別	男性	82	26.8	15.9	24.4	25.6	26.8	20.7	17.1	12.2	4.9	3.7	4.9	1.2
	女性	103	35.0	30.1	20.4	16.5	13.6	15.5	13.6	8.7	7.8	8.7	2.9	-
	無回答	8	25.0	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	37.5	12.5	-	-	25.0	-
年齢	18歳～29歳	18	5.6	11.1	16.7	33.3	22.2	22.2	22.2	5.6	16.7	-	5.6	-
	30歳～39歳	41	34.1	14.6	17.1	17.1	19.5	17.1	17.1	24.4	4.9	2.4	-	-
	40歳～49歳	44	34.1	38.6	29.5	25.0	15.9	15.9	15.9	6.8	4.5	11.4	4.5	2.3
	50歳～59歳	21	33.3	23.8	33.3	19.0	23.8	28.6	19.0	-	-	4.8	4.8	-
	60歳～69歳	33	36.4	33.3	30.3	15.2	18.2	21.2	15.2	15.2	-	15.2	6.1	-
	70歳以上	34	29.4	17.6	8.8	17.6	23.5	11.8	8.8	2.9	14.7	-	8.8	-
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

防災活動への取組状況

高年齢層ほど「既に取り組んでいる」が高く、若年層ほど「今後取り組みたい」が高い。【報告書 P.66】



健康づくりに関する活動への取組状況

高年齢層ほど「既に取り組んでいる」が高い。10・20歳代では「今後取り組みたい」が他の年齢層と比べて特に高い。【報告書 P.70】

